

平成 30 年度

中津川市総合計画 中期事業実施計画策定のための
市民意識調査（結果のまとめ）

【概要版】

目 次

1. 調査の概要.....	3
2. 回答者の属性【問1】	4
(1) 性別	
(2) 年齢	
(3) 居住地区	
(4) 居住年数	
(5) 家族構成	
(6) 仕事	
(7) 通勤・通学先	
3. 中津川市への思いについて【問2】	10
(1) 中津川市に住むようになった一番の理由	
(2) 暮らしやすさ（中津川市は暮らしやすいと思いますか）	
(3) 誇りや愛着（中津川市に誇りや愛着を感じますか）	
(4) 居住継続の意思（中津川市に住み続けたいと思いますか）	
(5) 働く環境としての魅力（中津川市は働く環境として魅力を感じますか）	
(6) 暮らしの不安（中津川市での暮らしに不安を感じますか）	
4. ふだんの暮らしの中でどう感じているか、地域がどんな様子かについて【問3】 ..	16
(1) 子育て環境、支援の取り組みに満足している人の割合	
(2) 「地域ぐるみで子育て」を実践できているまちとを感じる人の割合	
(3) 子どもが虐待を受けていると疑われるとき、市役所、児童相談所、 警察に連絡できる人の割合	
(4) 地域での支え合いができているまちとを感じる人の割合	
(5) 人権が尊重されているまちとを感じる人の割合	
(6) 地域活動、自治会活動に参加している人の割合	
(7) U I J ターンを受け入れやすいまちとを感じる人の割合	
5. 市民みんなで参加する健康づくりについて【問4】	18
(1) 日常生活で健康づくりを意識している人の割合	
(2) 週1回以上のスポーツや運動をしている人の割合	
6. 若い女性の市外流出について【問5】	19
女性が市内にとどまり働き続けるために最も必要と考えること	
7. まちづくりに関するご意見（自由記述）【問6】	19
（参考）	20
市民意識調査票	

1. 調査の概要

(1) 調査目的

中津川市総合計画中期事業実施計画策定にあたり、市の現状について市民がどう感じているか、今後の市の方向性をどう認識しているかを把握し、住み続けたい、住んでみたいと思うまちづくりの推進に活用するために実施。

(2) 調査対象・調査方法

- 調査対象 市内に住む 18 歳以上の市民 2,500 人（住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方法 アンケート調査票の郵送配布、郵送回収
- 調査時期 平成 30 年 6 月
- 実施主体 中津川市政策推進部政策推進課

(3) 回収状況

配布数	2,500 件
回収数	1,167 件
有効回収率	46.7%

(4) 集計

- 設問ごとに集計表、グラフ等で分析を加える。
- 年代、性別（設問によっては居住地域）でクロス集計を実施。
- 平成 25 年に実施した「まちづくりに関する市民アンケート」と共通する設問については、今回の結果と比較する。
- 自由記述については、総合計画基本構想の施策の柱で分類。

(5) その他

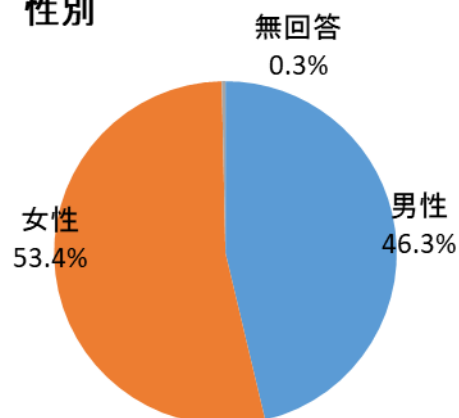
- 選択肢ごとの割合（%、小数点第 1 位表示）は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合がある。よって、合計欄は「100%」（整数）で表示している。

2. 回答者の属性【問1】

(1) 性別

	件数	H30 (%)	H25 (%)
男性	540	46.3	46.4
女性	623	53.4	53.4
無回答	4	0.3	0.2
全体	1,167	100	100

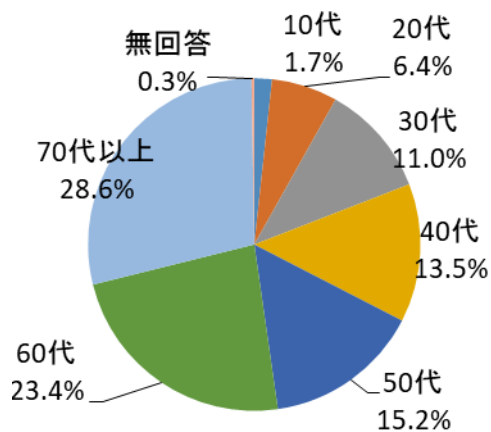
性別



(2) 年齢

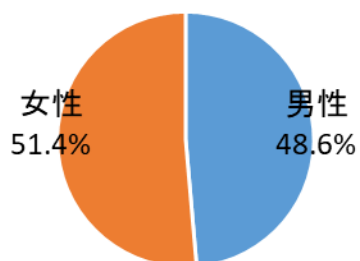
	件数	H30 (%)	H25 (%)
10代	20	1.7	2.2
20代	75	6.4	3.9
30代	128	11.0	10.3
40代	157	13.5	9.2
50代	177	15.2	18.3
60代	273	23.4	21.3
70代以上	334	28.6	34.6
無回答	3	0.3	0.1
全体	1,167	100	100

年齢

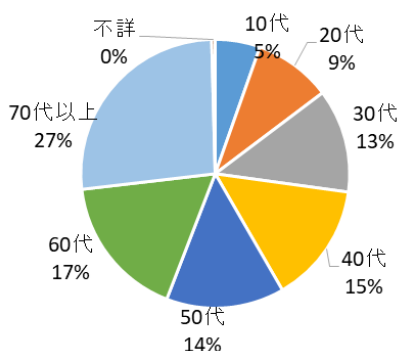


【参考】平成27年国勢調査人**

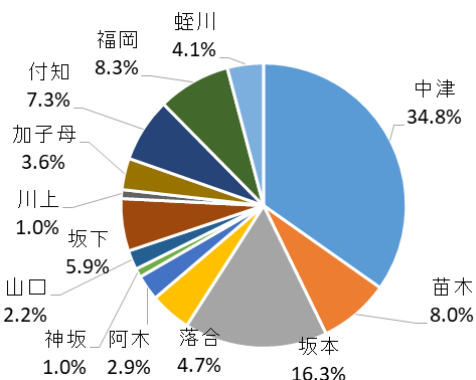
男女比



年代別



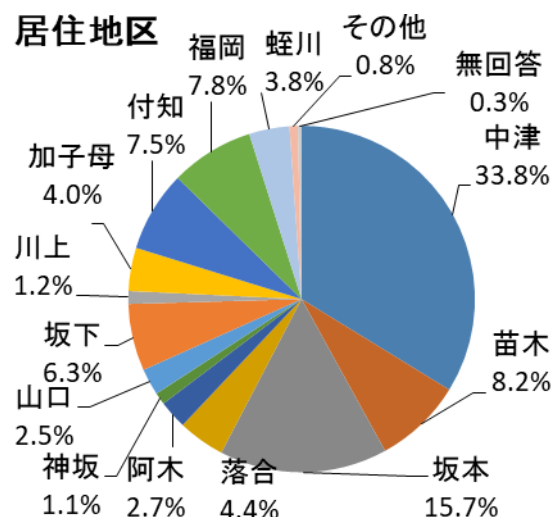
地区別



※年代別の10代には15歳から17歳を含む

(3) 居住地区

	件数	H30 (%)	H25 (%)
中津	394	33.8	35.7
苗木	96	8.2	6.4
坂本	183	15.7	14.2
落合	51	4.4	5.0
阿木	31	2.7	2.7
神坂	13	1.1	1.0
山口	29	2.5	2.3
坂下	73	6.3	6.9
川上	14	1.2	1.1
加子母	47	4.0	3.4
付知	88	7.5	7.5
福岡	91	7.8	8.6
蛭川	44	3.8	4.8
その他	9	0.8	0.2
無回答	4	0.3	0.1
全体	1,167	100	100



—基本属性別の回答者数—

【性・年代別】

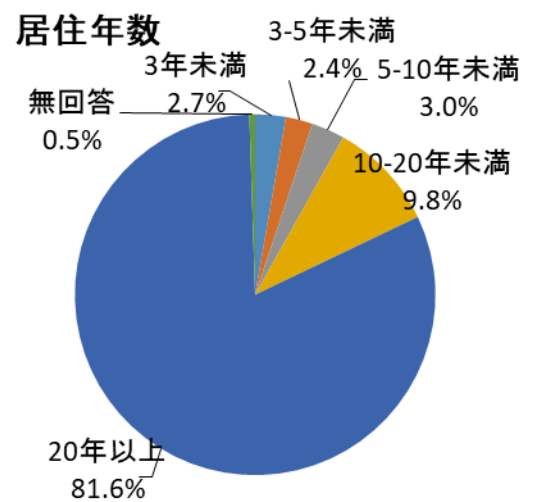
	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
男性	540	6	29	48	71	89	132	165	0
女性	623	14	46	79	86	88	141	169	0
無回答	4	0	0	1	0	0	0	0	3
計	1167	20	75	128	157	177	273	334	3

【性・年代・居住地区別】

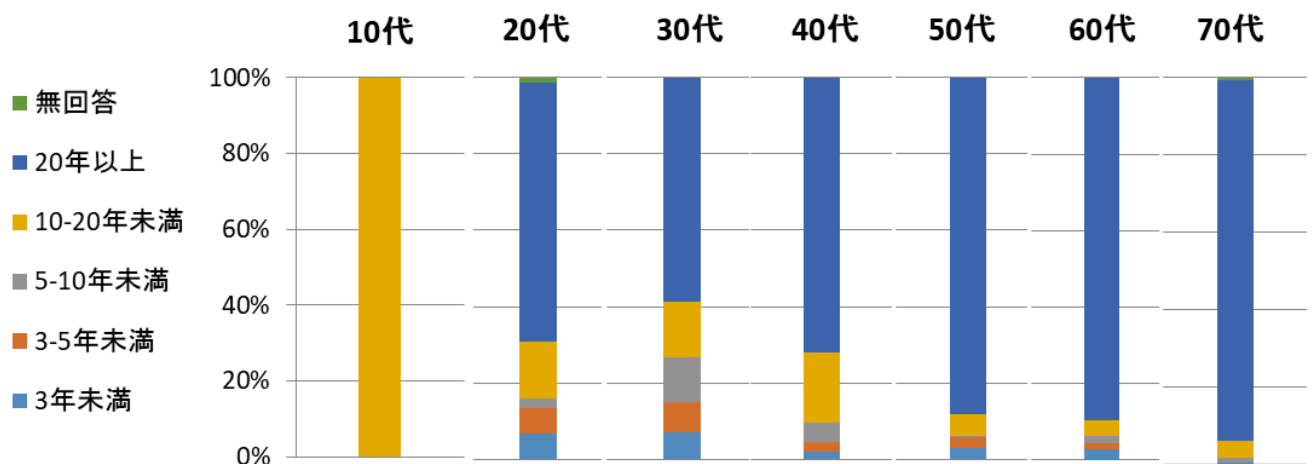
	合計	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	山口	坂下	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	その他	無回答
男性	540	171	45	83	24	11	5	12	41	8	26	44	47	19	3	1
女性	623	223	51	99	27	20	8	17	32	6	21	44	44	25	6	0
無回答	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
10代	20	11	0	3	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0
20代	75	33	5	14	1	1	0	3	3	1	3	1	4	4	2	0
30代	128	40	17	22	6	3	2	4	7	2	3	9	9	3	1	0
40代	157	47	16	39	2	2	2	4	7	2	8	8	12	6	2	0
50代	177	56	15	20	14	4	2	3	15	2	7	19	15	4	1	0
60代	273	91	23	38	13	9	1	10	17	1	15	21	23	10	1	0
70代以上	334	116	20	47	15	11	6	5	22	6	11	28	28	17	1	1
無回答	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(4) 居住年数

	件数	H30 (%)	H25 (%)
3 年未満	32	2.7	2.0
3-5 年未満	28	2.4	1.0
5-10 年未満	35	3.0	4.2
10-20 年未満	114	9.8	9.4
20 年以上	952	81.6	82.9
無回答	6	0.5	0.5
計	1,167	100	100

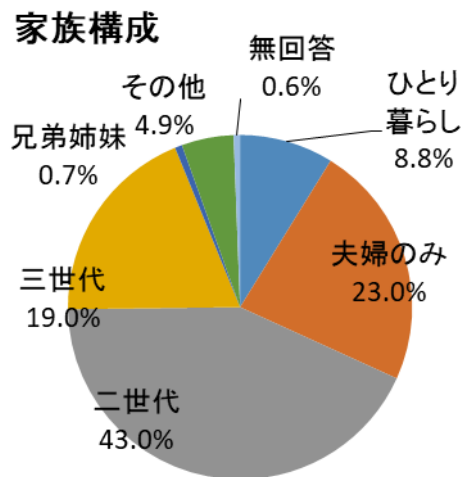


【年齢別】

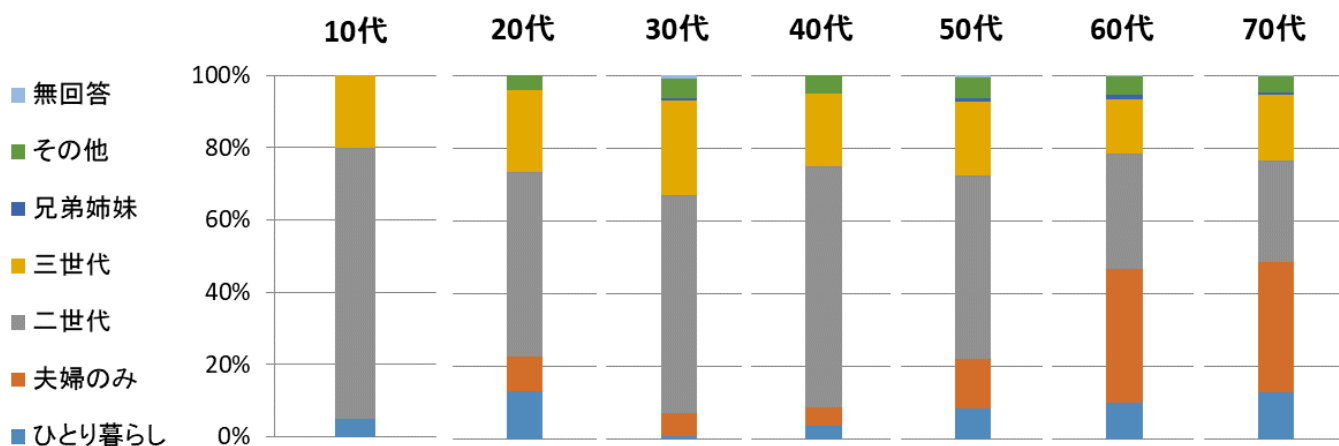


(5) 家族構成

	件数	H30 (%)	H25 (%)
ひとり暮らし	103	8.8	5.8
夫婦のみ	268	23.0	28.7
二世帯	502	43.0	41.1
三世帯	222	19.0	17.2
兄弟姉妹	8	0.7	0.4
その他	57	4.9	6.4
無回答	7	0.6	0.5
計	1,167	100	100

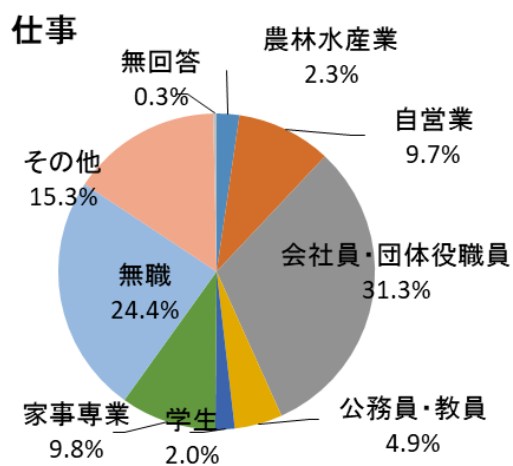


【年齢別】

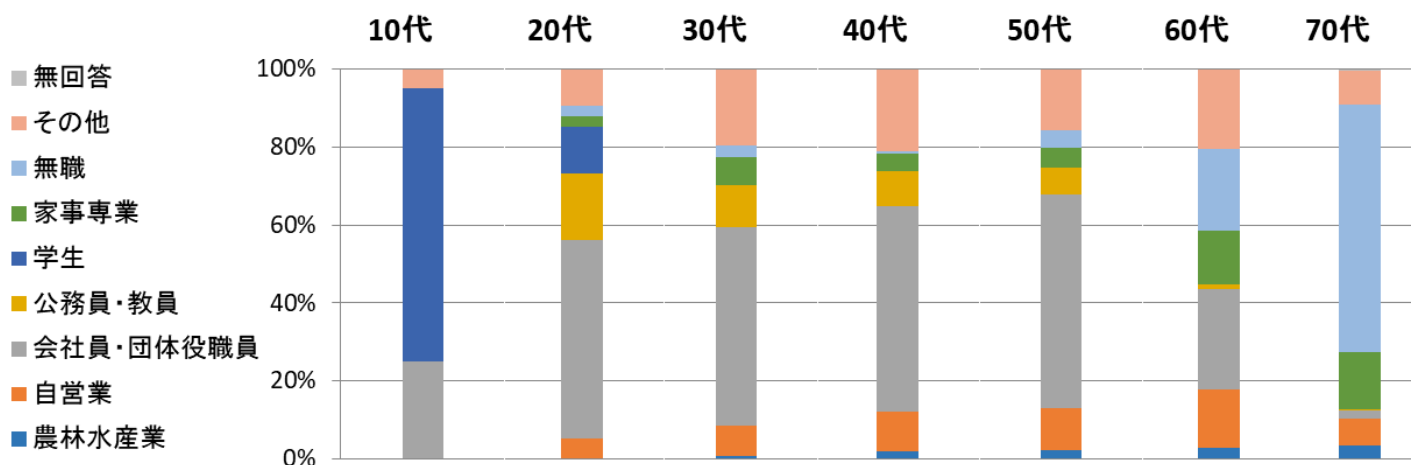


(6) 仕事

	件数	H30 (%)	H25 (%)
農林水産業	27	2.3	4.3
自営業	113	9.7	10.7
会社員・団体役職員	365	31.3	23.6
公務員・教員	57	4.9	4.0
学生	23	2.0	1.7
家事専業	114	9.8	11.7
無職	285	24.4	29.7
その他	179	15.3	13.6
無回答	4	0.3	0.7
計	1,167	100	100



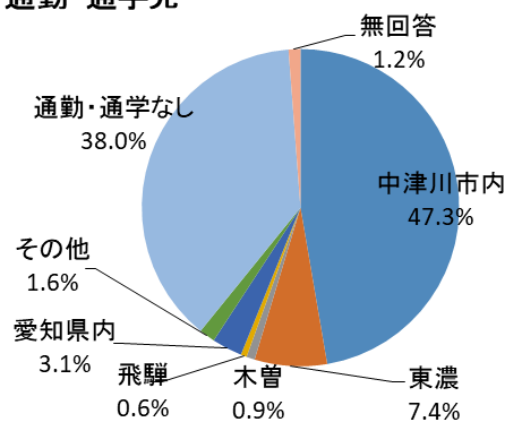
【年齢別】



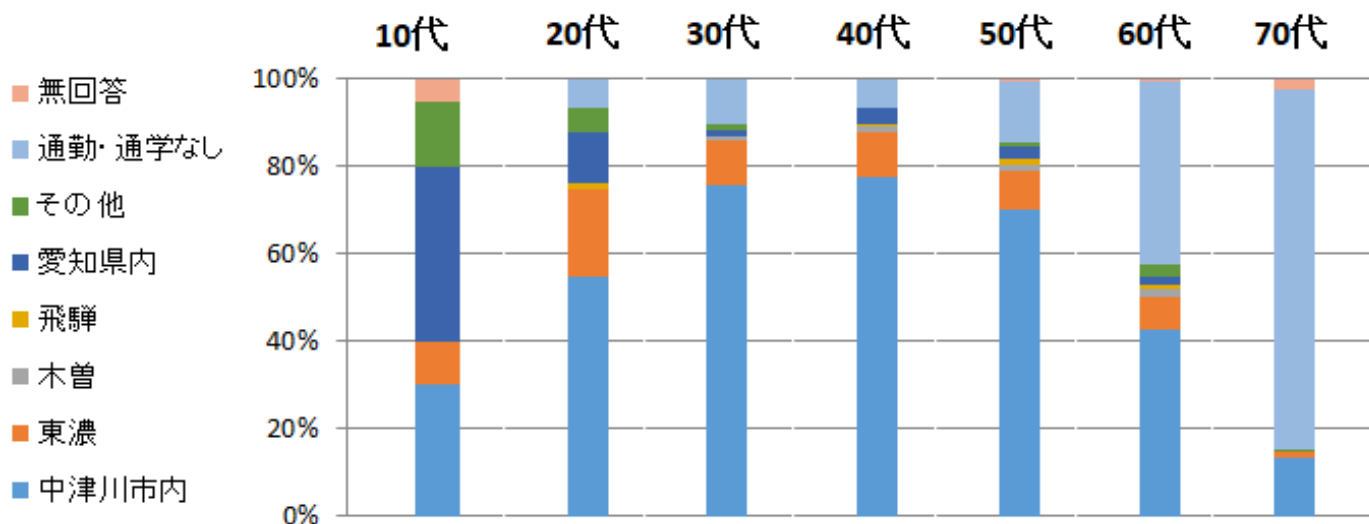
(7) 通勤・通学先

	件数	H30 (%)	H25 (%)
中津川市内	552	47.3	41.2
東濃	86	7.4	6.0
木曽	10	0.9	0.5
飛騨	7	0.6	0.4
愛知県内	36	3.1	2.2
その他	19	1.6	2.3
通勤・通学なし	443	38.0	27.2
無回答	14	1.2	20.1
計	1,167	100	100

通勤・通学先



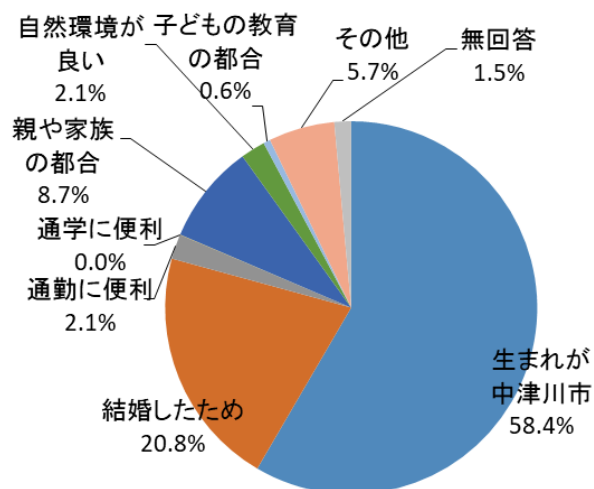
【年齢別】



3. 中津川市への思いについて【問2】

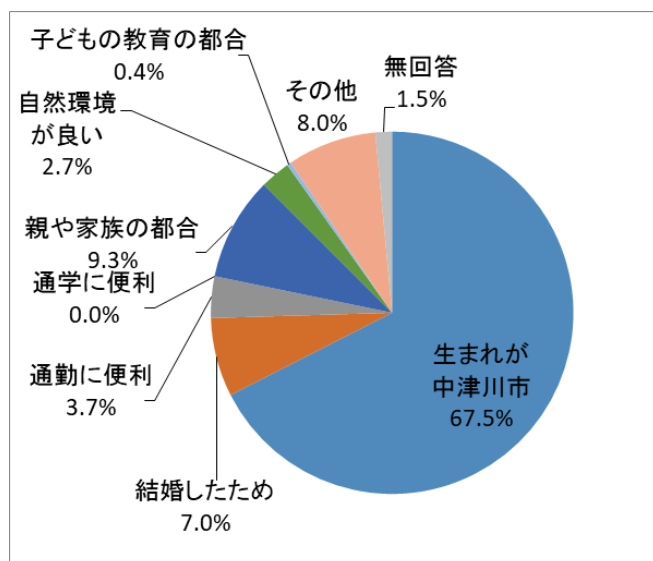
(1) 中津川市に住むようになった一番の理由

	件数	H30 (%)	H25 (%)
生まれが中津川市	682	58.4	54.7
結婚したため	243	20.8	23.7
通勤に便利	25	2.1	2.5
通学に便利	0	0.0	0.1
親や家族の都合	101	8.7	6.9
自然環境が良い	25	2.1	2.5
子どもの教育の都合	7	0.6	0.4
その他	67	5.7	7.7
無回答	17	1.5	1.6
合計	1,167	100	100

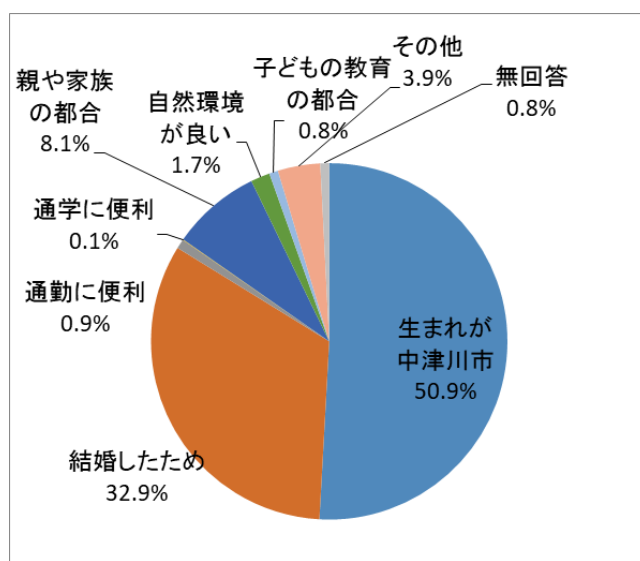


「生まれが中津川市」が過半数を占め、次いで「結婚したため」が約 21%を占めている。
 ※平成 25 年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較してもほぼ同様の結果である。

【男性】

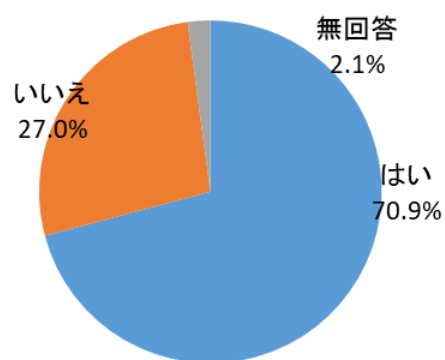


【女性】



(2) 暮らしやすさ（中津川市は暮らしやすいと思いますか）

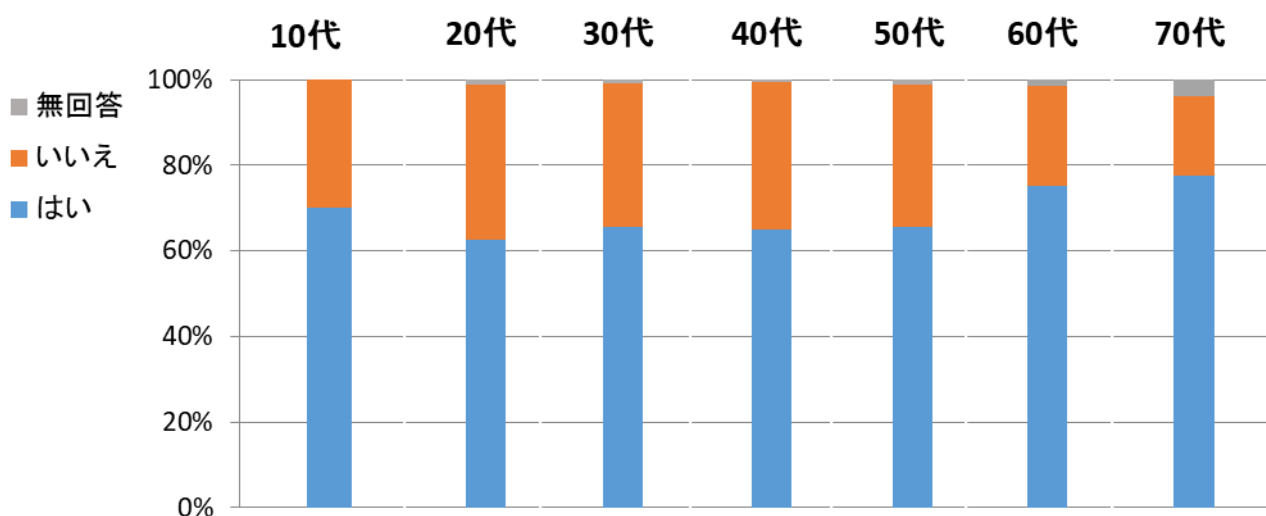
	件数	H30 (%)	H25 (%)
はい	827	70.9	68.0
いいえ	315	27.0	26.4
無回答	25	2.1	5.6
計	1,167	100	100



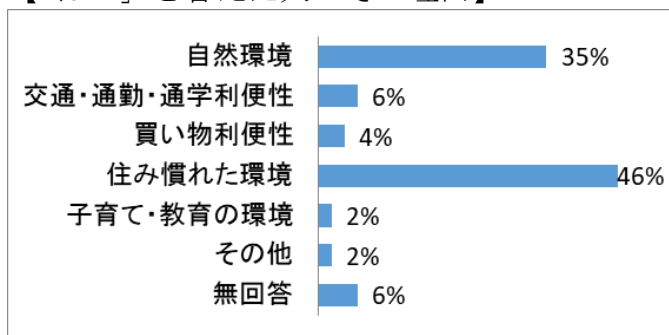
「はい」が70%以上を占めている。年齢別で大きな差はないが、60代以上で「はい」と答えた割合が高い。

※平成25年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較してもほぼ同様の結果だが、「はい」の割合が若干増加した。

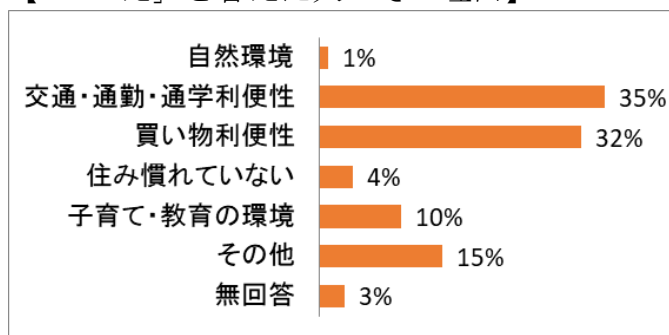
【年齢別】



【「はい」と答えた人のその理由】

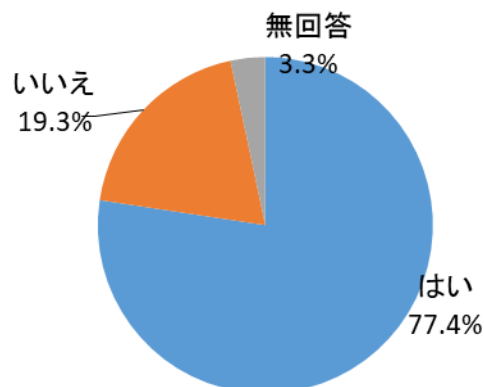


【「いいえ」と答えた人のその理由】



(3) 誇りや愛着（中津川市に誇りや愛着を感じますか）

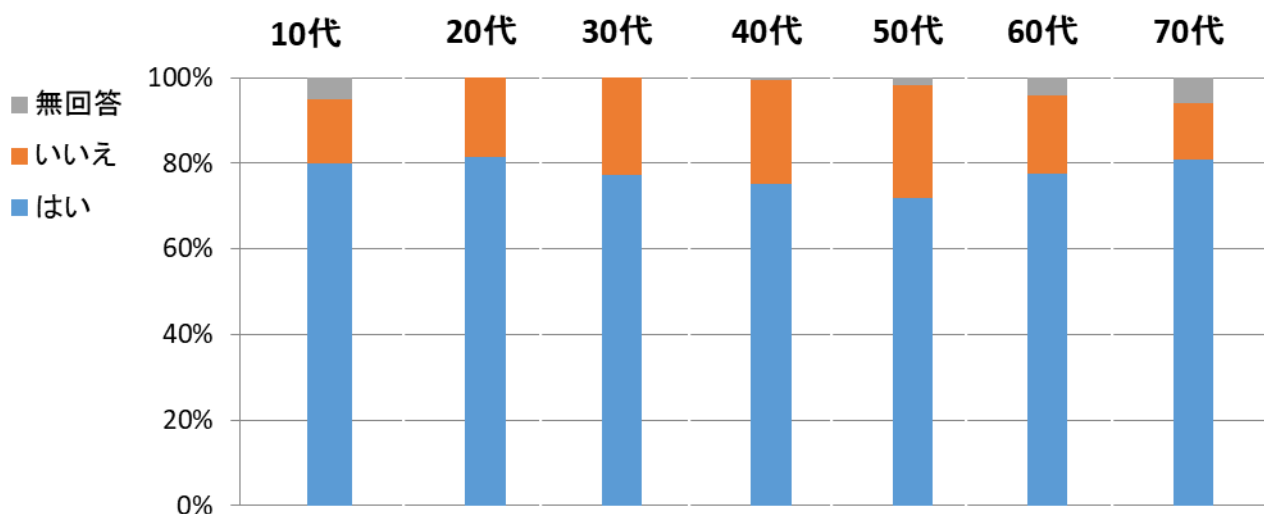
	件数	H30 (%)	H25 (%)
はい	903	77.4	65.0
いいえ	225	19.3	24.8
無回答	39	3.3	10.2
計	1,167	100	100



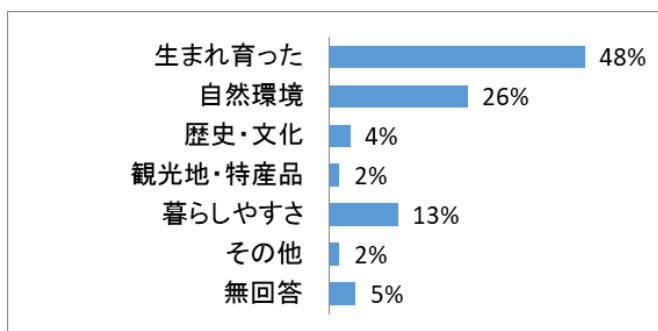
「はい」が70%以上を占めている。年齢別で大きな差はない。

※平成25年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較してもほぼ同様の結果だが、30代、40代で「いいえ」と答えた割合が減少した。

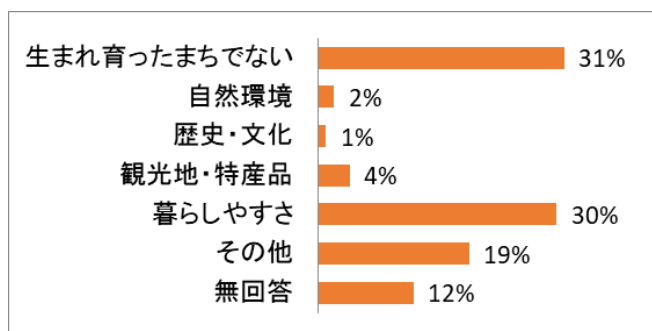
【年齢別】



【「はい」と答えた人のその理由】

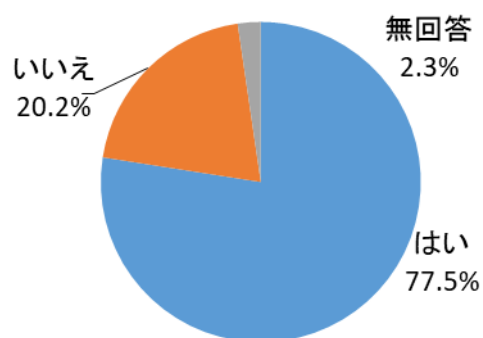


【「いいえ」と答えた人のその理由】



(4) 居住継続の意思（中津川市に住み続けたいと思いますか）

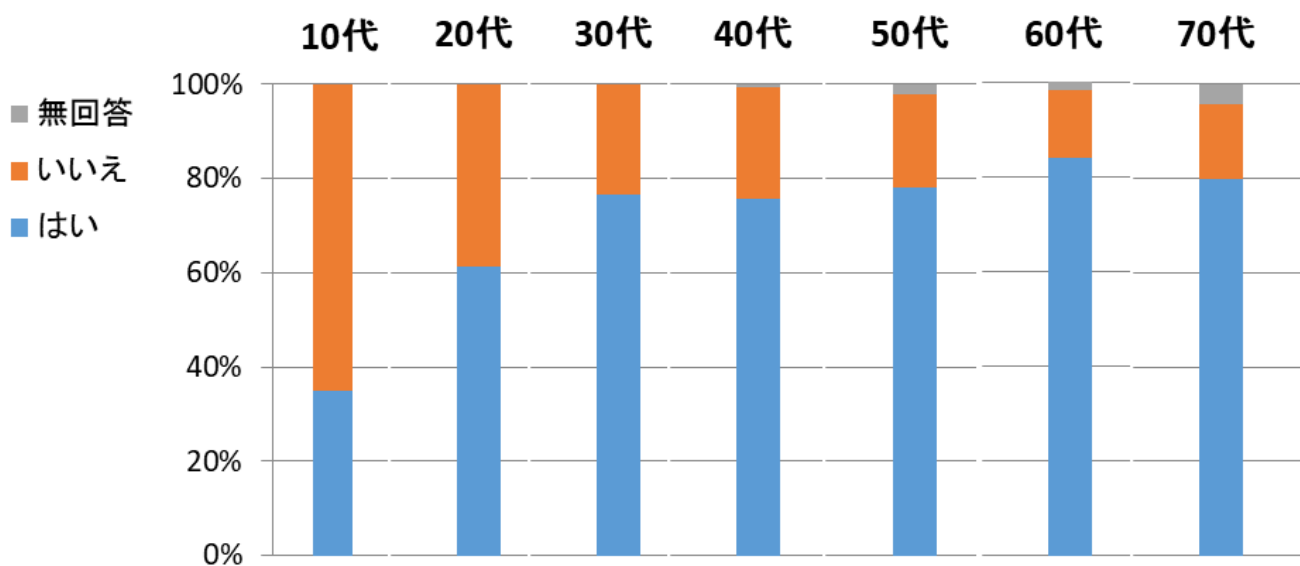
	件数	H30(%)	H25(%)
はい	904	77.5	78.3
いいえ	236	20.2	15.1
無回答	27	2.3	6.6
計	1,167	100	100



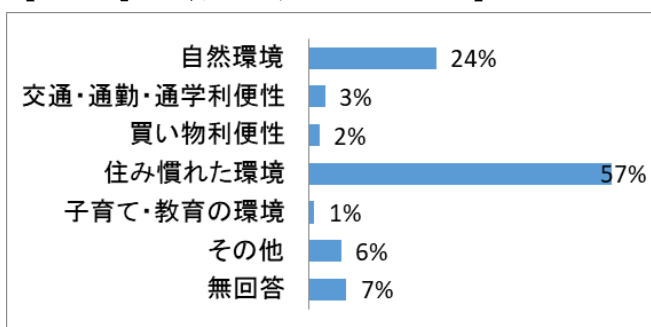
「はい」が70%以上を占めている。年齢別では、20代で「いいえ」と答えた割合が約40%と高く、年代が上がるにつれて「はい」と答えた割合が高くなる。

※平成25年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較してもほぼ同様の結果である。

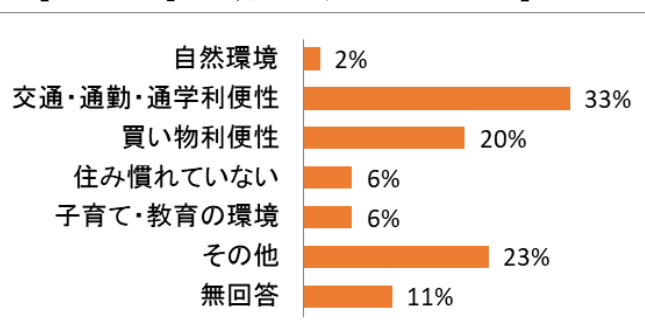
【年齢別】



【「はい」と答えた人のその理由】

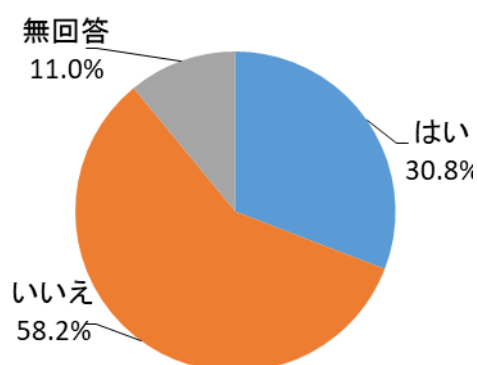


【「いいえ」と答えた人のその理由】



(5) 働く環境としての魅力（中津川市は働く環境として魅力を感じますか）

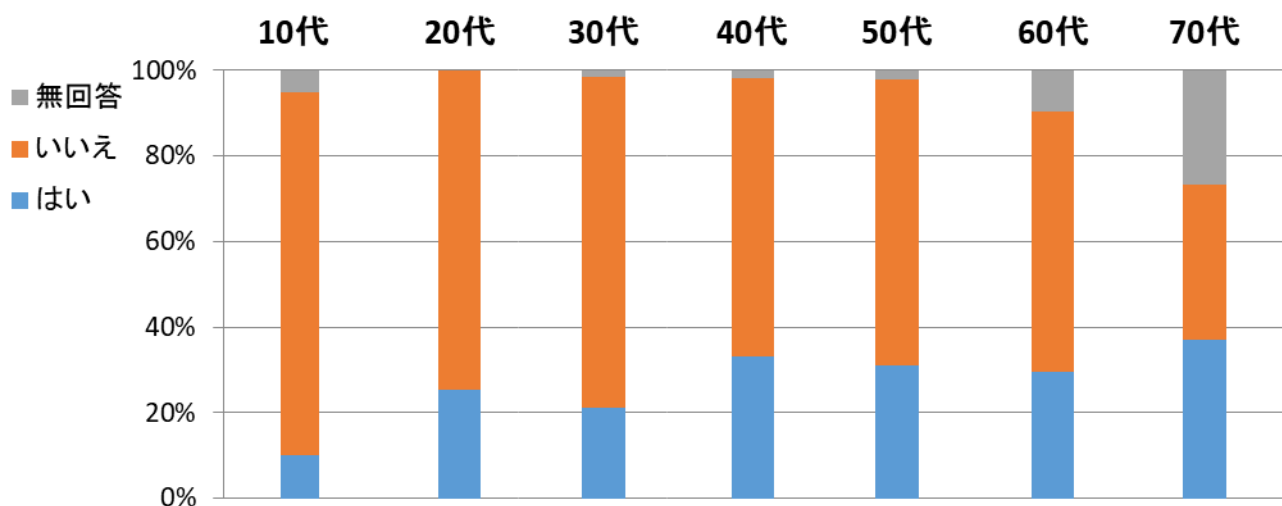
	件数	H30 (%)	H25 (%)
はい	360	30.8	28.8
いいえ	679	58.2	50.6
無回答	128	11.0	20.6
計	1,167	100	100



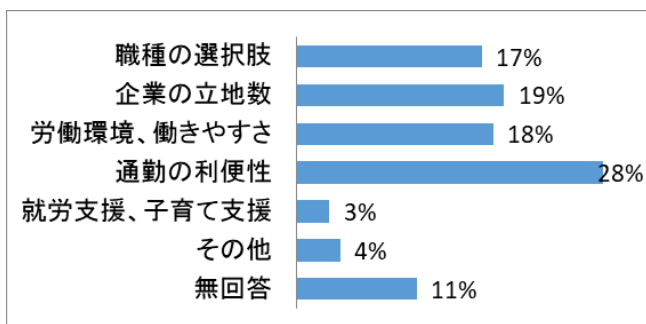
「いいえ」が約60%を占めている。年齢別で大きな差はないが、20代で「いいえ」と答えた割合が約75%と高い。

※平成25年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較してもほぼ同様の結果だが、「いいえ」と答えた割合が増加した。

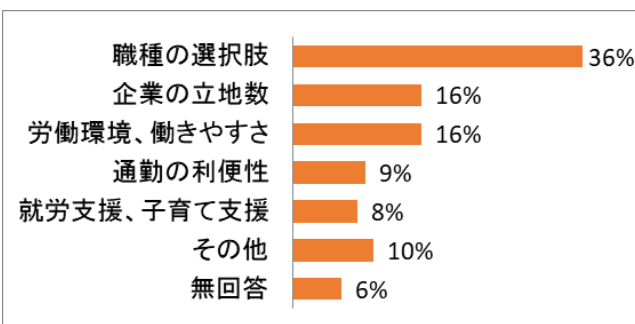
【年齢別】



【「はい」と答えた人のその理由】

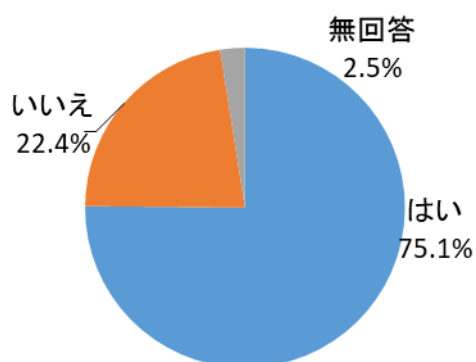


【「いいえ」と答えた人のその理由】



(6) 暮らしの不安（中津川市での暮らしに不安を感じますか）

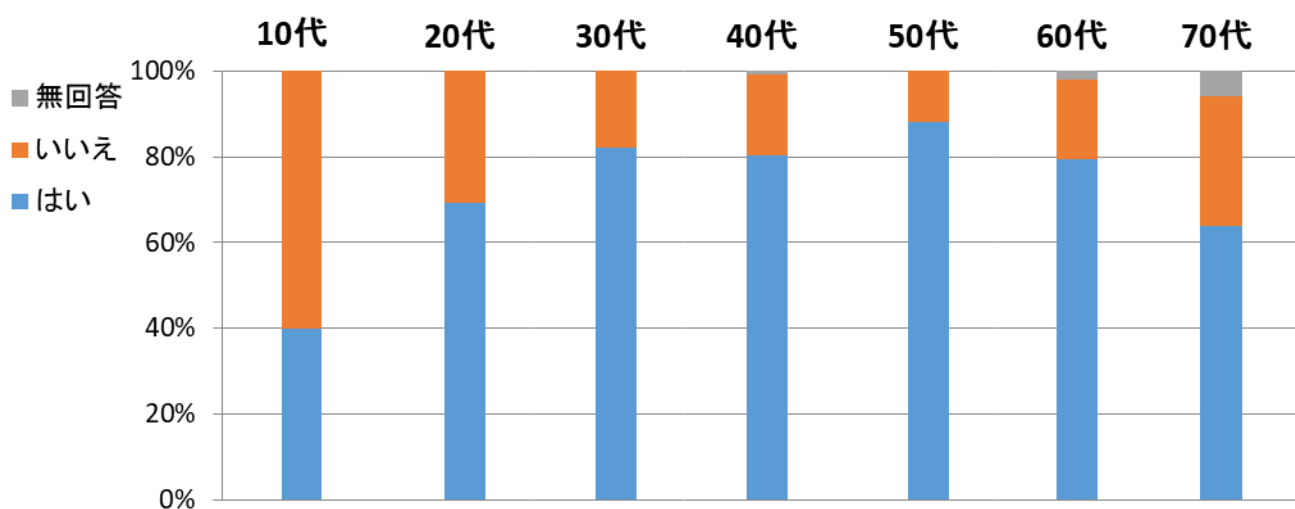
	件数	H30 (%)	H25 (%)
はい	877	75.1	50.1
いいえ	261	22.4	40.1
無回答	29	2.5	9.8
計	1,167	100	100



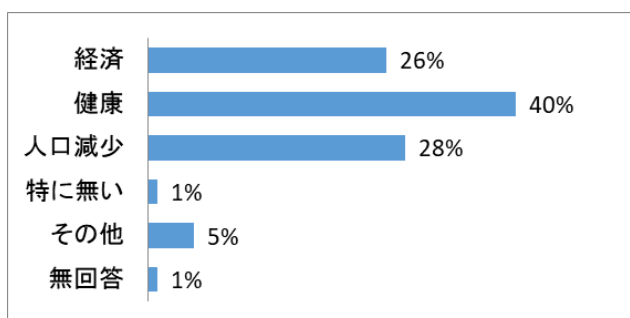
「はい（暮らしに不安を感じる）」が約 75%を占めている。年齢別では 30 代～60 代では「はい」と答えた割合が高く、80%を超えている。

※平成 25 年「まちづくりに関する市民アンケート」と比較して、「はい」と答えた割合が増加している。

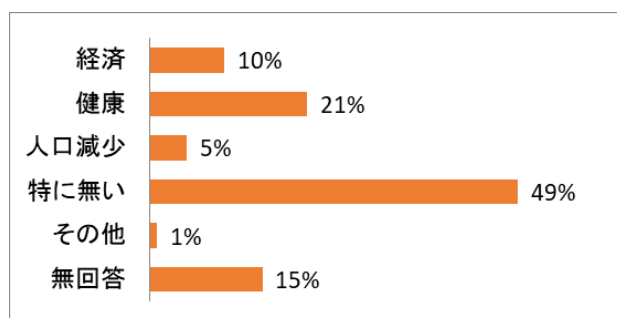
【年齢別】



【「はい」と答えた人のその理由】



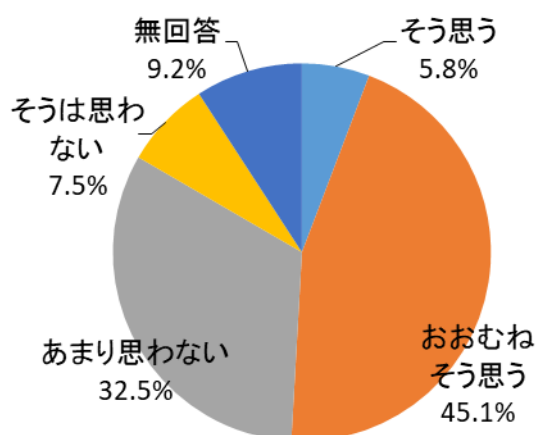
【「いいえ」と答えた人のその理由】



4. ふだんの暮らしの中でどう感じているか、地域がどんな様子かについて【問3】

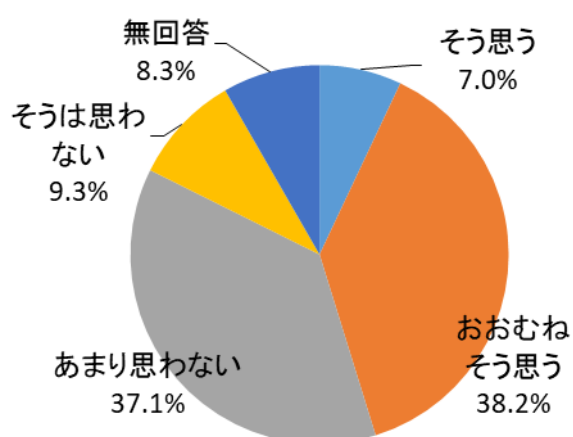
(1) 子育て環境、支援の取り組みに満足している人の割合

	件数	H30 (%)
そう思う	67.5	5.8
おおむねそう思う	526.5	45.1
あまり思わない	379	32.5
そうは思わない	87	7.5
無回答	107	9.2
計	1,167	100



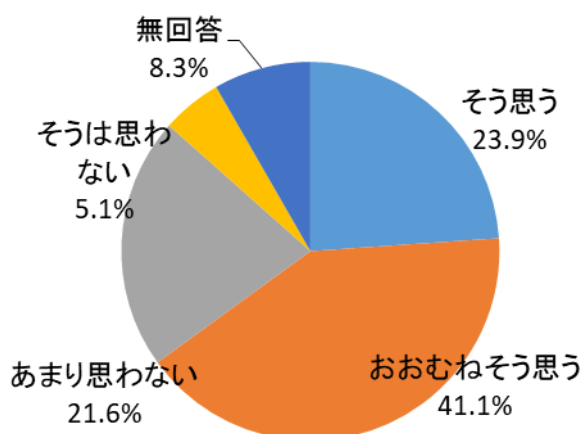
(2) 「地域ぐるみで子育て」を実践できているまちと感じる人の割合

	件数	H30 (%)
そう思う	82	7.0
おおむねそう思う	445.5	38.2
あまり思わない	433.5	37.1
そうは思わない	109	9.3
無回答	97	8.3
計	1,167	100



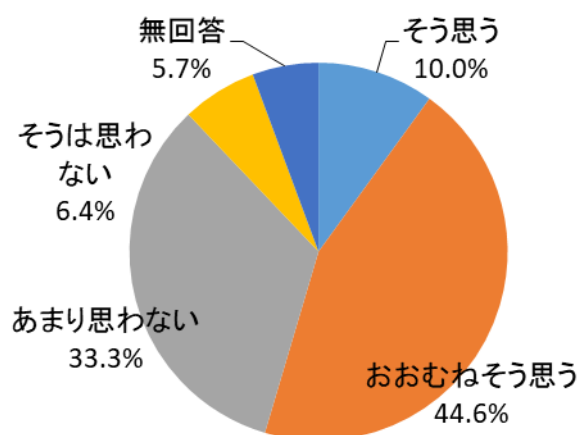
(3) 子どもが虐待を受けていると疑われるとき、市役所、児童相談所、警察に連絡できる人の割合

	件数	H30 (%)
そう思う	279	23.9
おおむねそう思う	479.5	41.1
あまり思わない	251.5	21.6
そうは思わない	60	5.1
無回答	97	8.3
計	1,167	100



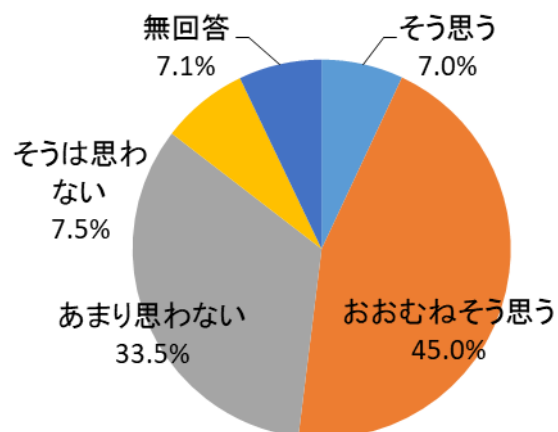
(4) 地域での支え合いができているまちと感じる人の割合

	件数	H30 (%)
そう思う	116.5	10.0
おおむねそう思う	520.5	44.6
あまり思わない	389	33.3
そうは思わない	75	6.4
無回答	66	5.7
計	1,167	100



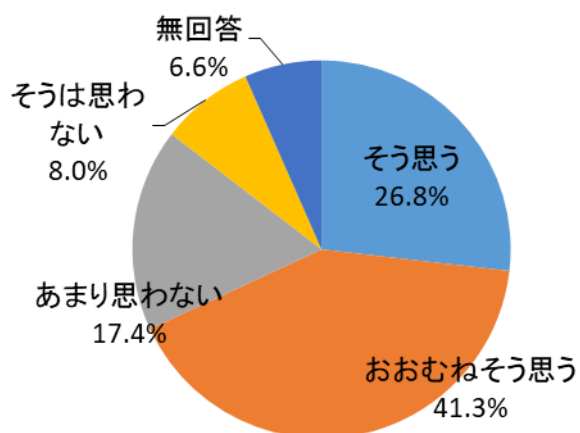
(5) 人権が尊重されているまちと感じる人の割合

	件数	H30 (%)
そう思う	81.5	7.0
おおむねそう思う	525	45.0
あまり思わない	390.5	33.5
そうは思わない	87	7.5
無回答	83	7.1
計	1,167	100



(6) 地域活動、自治会活動に参加している人の割合

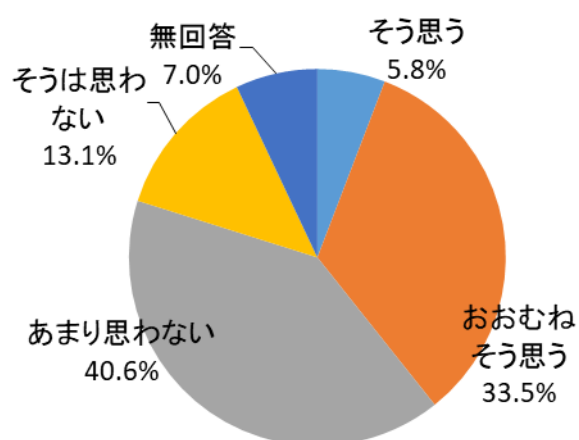
	件数	H30 (%)
そう思う	313	26.8
おおむねそう思う	481.5	41.3
あまり思わない	202.5	17.4
そうは思わない	93	8.0
無回答	77	6.6
計	1,167	100



(7) U I Jターン*を受け入れやすいまちと感じる人の割合

*U I Jターン：都市圏から地方に移住する動きで、Uターンは出身地へ戻る、Iターンは出身地以外へ移住、Jターンは出身地の近くの地方へ移住することをいう。

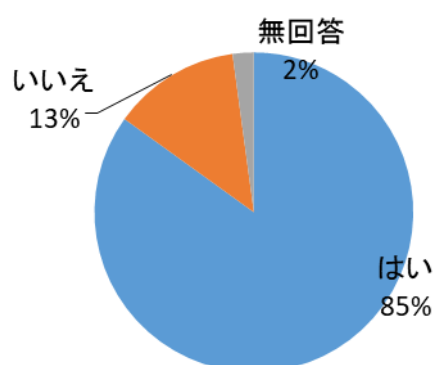
	件数	H30 (%)
そう思う	68	5.8
おおむねそう思う	390.5	33.5
あまり思わない	473.5	40.6
そうは思わない	153	13.1
無回答	82	7.0
計	1,167	100



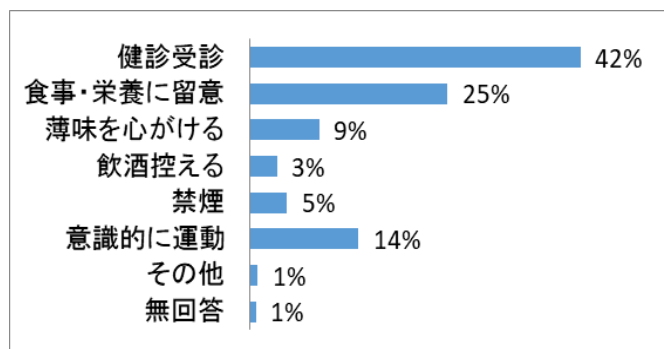
5. 市民みんなで参加する健康づくりについて【問4】

(1) 日常生活で健康づくりを意識している人の割合

	件数	H30 (%)
はい	991	85
いいえ	151	13
無回答	25	2
計	1,167	100

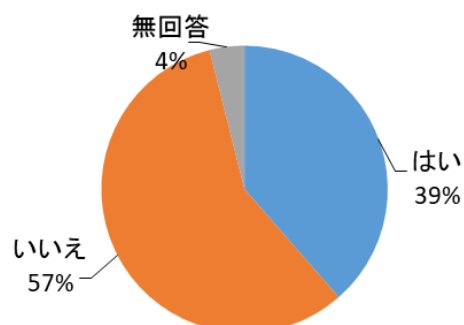


【「はい」と答えた人のその内容】



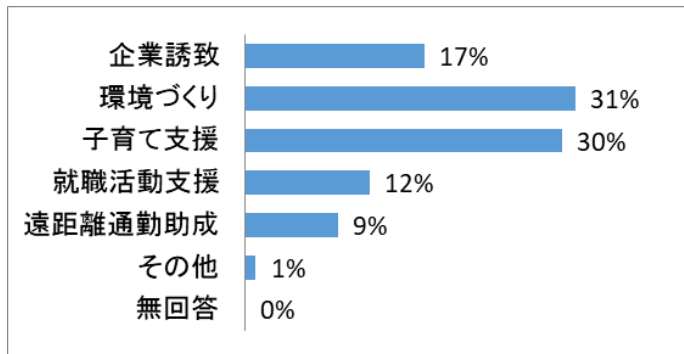
(2) 週1回以上のスポーツや運動をしている人の割合

	件数	H30 (%)
はい	450	39
いいえ	671	57
無回答	46	4
計	1,167	100



6. 若い女性の市外流出について【問5】

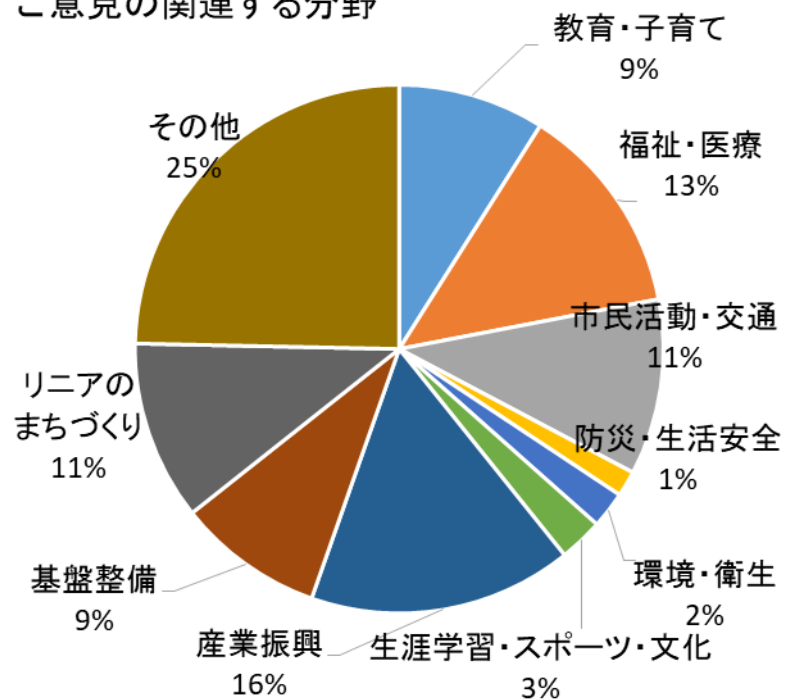
女性が市内にとどまり働き続けるために最も必要と考えること（一つ選択）



7. まちづくりに関するご意見（自由記述）【問6】

分野	件数
教育・子育て	40
福祉・医療	58
市民活動・交通	48
防災・生活安全	7
環境・衛生	10
生涯学習・スポーツ・文化	12
産業振興	72
基盤整備	40
リニアのまちづくり	49
その他	110
計	446

ご意見の関連する分野



中津川市総合計画 中期事業実施計画策定のための 市民意識調査

～中津川市のまちづくりに対する皆さまのご意見をお聞かせください～

市民の皆さまには、日頃より中津川市政にご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

中津川市では「中津川市総合計画（平成 27 年度～平成 38 年度）」の期間（12 年間）を 4 年ごとに分け、具体に取り組む事業を盛り込んだ事業実施計画を策定することとしております。このたび、平成 31 年度から平成 34 年度までを期間とする「中期事業実施計画」を策定いたします。

このアンケートは、その基礎資料とするため、市民の皆さまにご意見をおうかがいするものであり、市内にお住まいの 18 歳以上の方から 2,500 人を無作為に抽出して配布しております。また、アンケートの集計結果は、10 月頃に中津川市ホームページで、公表する予定です。

なお、皆さまからのご意見は、個人情報保護に留意し、目的以外には使用いたしません。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月

中津川市長 青山 節児

ご記入にあたってのお願い

- ① あて名のご本人がお答えください。
- ② このアンケートにお名前やご住所を記入していただく必要はありません。
- ③ ご記入していただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人のご回答の内容やプライバシーにかかわる内容が公表されることは一切ありません。
- ④ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、下記期日までに
ご投函ください。（切手不要）

提出期限は 平成 30 年 6 月 25 日（月）です。

【アンケートに関する問い合わせ先】

中津川市 政策推進部 政策推進課 政策企画係

担当 林、吉田

〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町 2 番 1 号

TEL (0573) 66-1111 内線 308、309

FAX (0573) 65-5273

E-mail: seisaku@city.nakatsugawa.lg.jp

※アンケートは、次のページから始まります

＜アンケート回答＞

問1 あなた自身についておたずねします。
あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(1) 性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

(2) 年齢を教えてください。

1. 18歳～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳 4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳 6. 60歳～69歳 7. 70歳以上

(3) お住まいの地区を教えてください。

1. 中津地区 2. 苗木地区 3. 坂本地区 4. 落合地区 5. 阿木地区
6. 神坂地区 7. 山口地区 8. 坂下地区 9. 川上地区^{かわうえ} 10. 加子母地区
11. 付知地区 12. 福岡地区 13. 蛭川地区 14. その他

(4) 中津川市内に何年お住まいですか。

1. 3年未満 2. 3～5年未満 3. 5～10年未満
4. 10～20年未満 5. 20年以上

(5) ご家族の構成を教えてください。

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と子ども）
4. 三世帯同居（親と子どもと孫） 5. 兄弟姉妹と同居 6. その他

(6) お仕事を教えてください。（1つを選択）

1. 農林水産業 2. 自営業（商工業・サービス業） 3. 会社員・団体役職員
4. 公務員・教員 5. 学生 6. 家事専業 7. 無職 8. その他

(7) 通勤・通学先を教えてください。

1. 中津川市内 2. 東濃地域（恵那市、瑞浪市、土岐市、多治見市）
3. 木曽地域（南木曽町、大桑村など） 4. 飛騨地域（下呂市、高山市など）
5. 愛知県内 6. その他（具体的に： ） 7. 通勤・通学先なし

問2 中津川市への思いについておたずねします。(2)以降の質問については、はい、いいえでお答えいただき、その理由について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(1) 中津川市に住むようになった一番の理由はなんですか。

1. 生まれが中津川市 2. 結婚したため 3. 通勤に便利 4. 通学に便利
5. 親や家族の都合 6. 自然環境が良い 7. 子どもの教育の都合 8. その他

(2) 中津川市は暮らしやすいと思いますか。はい、いいえでお答えいただき、いずれの場合もその理由を1つ選んでください。

1. はい 2. いいえ

その理由

1. 自然環境 2. 交通・通勤・通学の利便性 3. 買物の利便性
4. 住み慣れた環境 [いいえの場合：住み慣れていない] 5. 子育て・教育の環境
6. その他 []

(3) 中津川市に誇りや愛着を感じますか。はい、いいえでお答えいただき、いずれの場合もその理由を1つ選んでください。

1. はい 2. いいえ

その理由

1. 生まれ育った〔いいえの場合：生まれ育ったまちではない〕 2. 自然環境
3. 歴史・文化のまち 4. 観光地・特産品 5. 暮らしやすさ
6. その他〔

(4) 中津川市に住みたいと思いますか。はい、いいえでお答えいただき、いずれの場合もその理由を1つ選んでください。

1. はい 2. いいえ

その理由

- [illegible]

移住したいと思う場所（地名）があればお書き下さい

(5) 中津川市は働く環境として魅力を感じますか。はい、いいえでお答えいただき、いずれの場合もその理由を1つ選んでください。

1. はい 2. いいえ

その理由

1. 職種の選択肢 2. 企業の立地数 3. 労働環境、働きやすさ
4. 通勤の利便性 5. 就労支援、子育て支援
6. その他 []

(6) 中津川市での暮らしに不安を感じますか。はい、いいえでお答えいただき、いずれの場合もその理由を1つ選んでください。

1. はい 2. いいえ

その理由

1. 経済(収入、税負担) 2. 健康(病院、介護) 3. 人口減少(少子・高齢化)
4. 特にない 5. その他〔 〕

問3 あなたご自身がふだんの暮らしの中でどう感じているか、地域がどんな様子かをおたずねします。①～⑦の質問に対し、それぞれ1つ選んで○をつけてください。

項 目		各項目に対して1つ選んでください			
		1 そう思う	2 おおむね そう思う	3 あまり 思わない	4 そうは 思わない
子育て	① 子育て環境、支援の取り組みに満足している	1	2	3	4
	② 「地域ぐるみで子育て」を実践できているまちと 感じる	1	2	3	4
福祉	③ 子どもが虐待を受けていると疑われるとき、 市役所、児童相談所、警察に連絡できる	1	2	3	4
	④ 地域での支え合いができていますと 感じる	1	2	3	4
地域社会	⑤ 人権が尊重されているまちと 感じる	1	2	3	4
	⑥ 地域活動、自治会活動に参加している	1	2	3	4
	⑦ U I J ターン*を受け入れやすいまちと 感じる	1	2	3	4

*U I J ターン：都市圏から地方に移住する動きで、Uターンは出身地へ戻る、Iターンは出身地以外へ移住、Jターンは出身地の近くの地方へ移住することをいう。

問4 市では「8万人のヘルスアップ」として市民みなで参加する健康づくりに取り組んでいます。以下の質問について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

(1) 日常生活で健康づくりを意識していますか

1. はい ⇒
- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 健(検)診を受けている | 2. 食事や栄養に気をつけている |
| 3. 料理の味付けを薄味に心がけている | 4. 飲酒量を控えている |
| 5. 喫煙をやめた | 6. 意識的に運動している |
| 7. その他〔 | 〕 |

2. いいえ

(2) 週1回以上、スポーツや運動をしていますか

1. はい 2. いいえ

問5 人口減少の進む中で若い女性の市外流出が大きな課題の一つです。女性が市内に留まり働き続けるために最も必要と考えるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 企業誘致(新しい分野・職種) | 2. 働きやすい環境づくり(休暇制度、就労時間の自由度) |
| 3. 子育て支援の充実(保育環境、相談体制) | 4. 就職活動支援の充実 |
| 5. 遠距離通勤への助成 | 6. その他〔 |
| | 〕 |

問6 その他、まちづくりへのご意見があればお聞かせください。

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月25日(月)までにご投函くださいますよう、よろしくお願いいたします。